

微生物を用いる変異原性試験の結果、変異原性が認められるとされた化学物質一覧

	名称公表 通し番号	名称公表年月日 名称公表告示番号	名称
1	26401	平成29年12月27日 厚生 労働省告示第364号	1 <i>H</i> -インデン-1-イル(メチル)(フェニル)(2, 3, 4, 5-テトラメチルシクロペンタ-2, 4-ジエン-1-イル)シラン
2	26412		{2, 2'-[エチレンビス(アザン-1-イル-1-イリデン- κ <i>N</i> -メタン-1-イル-1-イリデン)]ビス(フェノキシド- κ <i>O</i>)}鉄と μ -オキシド-ビス({2, 2'-[エチレンビス(アザン-1-イル-1-イリデン- κ <i>N</i> -メタン-1-イル-1-イリデン)]ビス(フェノキシド- κ <i>O</i>)}鉄)の混合物
3	26426		3-クロロ-1, 1-ジフルオロアセトンの水溶液
4	26482		3, 3, 5-トリクロロピリジン-2, 4(1 <i>H</i> , 3 <i>H</i>)-ジオン
5	26507		6-ビニルナフタレン-2-オール
6	26591	平成30年3月27日 厚生労 働省告示第135号	(4-イソプロピルフェニル)(4-トリル)ヨードニウム=トリフルオロ[トリス(ペンタフルオロエチル)]- λ^5 -ホスファヌイド
7	26638		4-クロロイソキノリン-3-アミン
8	26657		(1 <i>R</i>)-8-クロロ-1-メチル-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-1 <i>H</i> -3-ベンゾアゼピン-3-イウム=クロリド-水(2/1)
9	26659		2-(クロロメチル)-3-ヨードトルエン
10	26674		4-シクロプロピルイソキノリン-3-アミン
11	26691		(2 <i>S</i>)-1-[2, 2-ジフルオロ-2-(1-ヒドロキシ-3, 3, 5, 5-テトラメチルシクロヘキシル)アセチル]ピロリジン-2-カルボアルデヒド
12	26698		4-(ジブロモメチル)-3-メキシベンゾニトリル
13	26702		<i>N</i> -[4-(ジベンゾ[<i>b</i> , <i>d</i>]フラン-4-イル)フェニル]ビフェニル-4-アミン
14	26745		4-(2-ヒドロキシエチル)-2-ニトロベンゼンジアゾニウム=クロリドを主成分とする、亜硝酸ナトリウムと2-(4-アミノ-3-ニトロフェニル)エタノールと塩化水素の反応生成物
15	26785		3-(ブロモメチル)ブタ-3-エン-1-イル=プロピオナート
16	26995	平成30年6月27日 厚生労 働省告示第250号	(2-フルオロ-4-ニトロフェニル)アセトニトリル
17	26996		{(1 <i>R</i> , 2 <i>S</i>)-2-(3-フルオロフェニル)-2-[(トシロキシ)メチル]シクロプロピル}メチル=アセタート
18	27009		ペンタ-2-イン-1-オールの臭素化反応生成物の1-ブロモペンタ-2-イン精製時の蒸留残渣
19	27089	平成30年9月27日 厚生労 働省告示第338号	オキシラン-2-イルメチル=ジフェニルホスフィナート
20	27100		1-クロロ-2-(クロロメチル)-4-ニトロベンゼン
21	27101		2-クロロ-1-(クロロメチル)-3-ニトロベンゼン
22	27112		2, 5-ジオキソピロリジン-1-イル=9 <i>H</i> -フルオレン-9-イルメチル=カルボナート

	名称公表 通し番号	名称公表年月日 名称公表告示番号	名称
23	27126		ジフェニルホスフィノイル＝クロリド
24	27157		<i>N, N, N', N'</i> －テトラキス(オキシラン－2－イルメチル)－3, 3'－スルホニルジアニリンを主成分とする、2－(クロロメチル)オキシランと3, 3'－スルホニルジアニリンと3, 4'－スルホニルジアニリンの縮合反応生成物
25	27174		3－[3－(トリフルオロメチル)フェニル]プロピル＝メタンスルホナート
26	27233		6－ブロモ－1, 4－ジオキサスピロ[4. 4]ノナン
27	27261		メチル＝ヒドラジンカルボジチオアート
28	27262		メチル＝6－(プロパー2－イン－1－イルオキシ)－2－ナフトアート